

政策番号	18	政策分野	学校教育
------	----	------	------

基本方針	いかなる社会情勢にあっても、「ひとりひとりの子どもを徹底的に大切にする」という京都市教育の理念の下、京都で学んだ子どもたちがいのちを大切に、夢と希望をもって未来を切り拓いていけるよう、家庭・地域・大学・産業界・NPOなどの積極的な参画を得て、市民ぐるみで子どもたちの「生きる力」を育む学校教育を推進する。
------	--

担当局	教育委員会	共管局	
-----	-------	-----	--

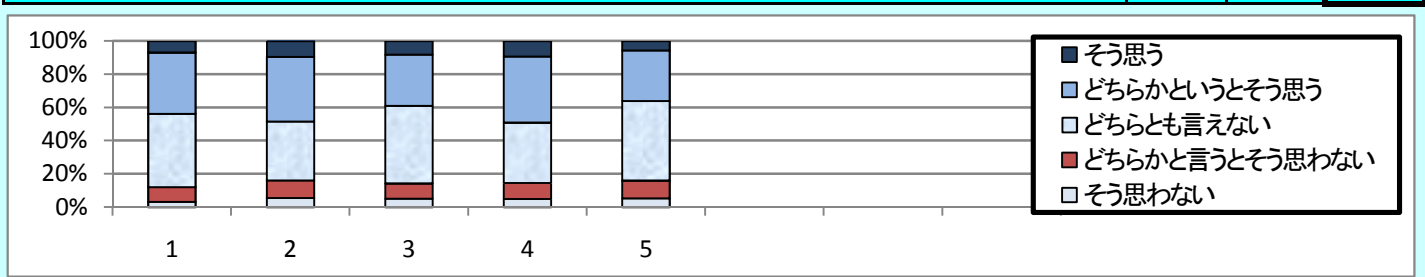
政策の評価

1 客観指標評価

指標名		23年度 評価値	32年度 目標値	年 度	年 度	23年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	学校教育に参画するボランティア数(人)	24,699	29,000	-	-	24,000	24,699	24,500	100.8%	a
2	「小中一貫教育校」または「小中一貫教育推進校」に指定した中学校ブロックの割合(%)	36.1	100	-	-	31.9	36.1	100	36.1%	e
3	総合支援学校高等部卒業生の企業等就職者数(人)	45	600	-	-	49	45	51	88.2%	a
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価										b

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		年度	年度	23年度
1	保護者や地域のひとびとが学校のさまざまな活動に参画するなど、地域ぐるみの教育が進んでいる。	-	-	b
2	安全快適な学校施設や最新の設備など、充実した教育環境が整っている。	-	-	b
3	学校の先生は、他校の先生、保護者や地域のひとびとと連携して、子どもの教育に取り組んでいる。	-	-	c
4	子どもたちが参加できる、さまざまな学びやスポーツ、体験活動の機会がある。	-	-	b
5	京都ならではの伝統文化や環境の教育が、社会を担える人材の育成に役立っている。	-	-	c
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
市民生活実感調査総合評価				b



2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

年度		年度		23年度	
順位	%	順位	%	順位	%
-	-	-	-	9	22.7%

3 総合評価

B	政策の目的がかなり達成されている		
【客観指標】・ボランティア数は、市民共汗サポーターと位置付けて幅広く募集を行った結果、堅調に増加し、a評価となった。 ・小中一貫教育については、全市で展開しているが、「小中一貫教育校」、「小中一貫教育推進校」の指定としては36.1%のため、e評価となった。 ・企業等就職者数は、総合支援学校職業学科の定員拡大、進路先確保のためのネットワークの構築、授業と長期実習を組み合わせた「総合支援学校デュアルシステム」の推進等を経て、微減は見られるものの堅調に推移し、a評価となった。 【市民の実感】・多数回答を総合すると、地域ぐるみの教育、教育環境の充実、多様な体験機会の充実については、概ね実感されているが、校種間連携と京都ならではの教育による人材育成については、比較的実感が広がっていない。このうち人材育成については、教育と人材としての成長との間には、時間的・場所的に隔たりがあることから、教育効果が認知されにくいという傾向が見られる。 【総括】・学校運営協議会による地域ぐるみの教育、教室冷房化や校内LAN整備等の教育環境の充実、「京都まなびの街生き方探求館」等での体験学習の推進など、概ね取組に見合った実感を得た結果となった。 ・こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的は、かなり達成されていると評価する。		年度	-
		年度	-

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価>

施策番号	施策名	評価結果			参照 ページ
				23	
1801	市民ぐるみの教育の推進	-	-	A	199
1802	子どもたちに「生きる力」を育む教育の推進	-	-	A	201
1803	教職員の資質・指導力の向上	-	-	B	203
1804	新しい学習環境づくり	-	-	B	205

<今後の方向性>

・学校と家庭・地域が相互に高め合いながら、経済界や大学、NPOなど、様々な機関と連携し、安心して学べる学校づくり、地域ぐるみで進める豊かな体験活動、すべての教育活動を通して行う道徳的実践力、規範意識の向上など、様々な教育改革の取組を市民の方と共に進めていくこととしている。

政策名	18	学校教育				
指標名	学校教育に参画するボランティア数（人）					
担当部室	総務部	連絡先	2 2 2 - 3 7 6 8			
1 指標の説明						
学校支援ボランティア、学生ボランティア、総合育成支援教育ボランティア、スチューデントシティ・ファイナンスパーク学習ボランティア、青少年科学センターボランティア、学校図書館ボランティア等の学校教育に参画するボランティアの人数						
2 指標の意味		3 算出方法・出典等				
市民の学校教育への参画の推進を示す指標		出典：事業担当課調べ				
4 数値						
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値 24,699	平成32年度目標値 29,000	根拠 現況値（21年度24,000人）の約20%増しを目指す			
	前回数値 21年度 24,000	最新数値 22年度 24,699	推移 699人増	単年度目標値 数値 24,500	根拠 平成32年度の目標値達成のため、毎年、前年度目標値の500人増を目標とする。	達成度 100.8%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値						
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満		100%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。				23
				-	-	a

指標名	「小中一貫教育校」または「小中一貫教育推進校」に指定した中学校ブロックの割合（％）					
担当部室	指導部	連絡先	2 2 2 - 3 8 0 1			
1 指標の説明						
「小中一貫教育校」、 「小中一貫教育推進校」として指定する中学校ブロックの割合						
2 指標の意味		3 算出方法・出典等				
校種間で連携した学校教育の推進状況を示す指標		出典：事業担当課調べ				
4 数値						
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値 36.1	平成32年度目標値 100	根拠 全ての中学校ブロックにおける指定が必要であるため。			
	前回数値 21年度 31.9	最新数値 22年度 36.1	推移 4.2ポイント増	単年度目標値 数値 100	根拠 全ての中学校ブロックにおける実施が必要であるため。	達成度 36.1%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値						
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満		100%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。				23
				-	-	e

政策名		18		学校教育	
指標名		総合支援学校高等部卒業生の企業等就職者数（人）			
担当部室		指導部		連絡先	
				3 5 2 - 2 2 8 5	
1 指標の説明					
総合支援学校高等部卒業生の企業等就職者数					
2 指標の意味			3 算出方法・出典等		
総合支援学校高等部卒業生の自立的な社会参加の達成状況を示す指標			出典：事業担当課調べ		
4 数値					
10年後の（平成32年度）目標値		平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠	
		45	600	今後10年間（23～32年度）の総合支援学校高等部卒業生の企業等就職者数を、過去10年間（13～22年度：365人）の50%増を上回る600人とする。	
	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値	
	21年度	22年度		数値	根拠
数値	49	45	4人減	51	32年度の目標達成のために当年度達成すべき数値※18年度（職業学科1期生卒業）～21年度の平均値
					達成度
					88.2%
	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値				根拠	
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満			最終的な目標値の達成を鑑みて、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。		
					23
					a